

つるみこくさいこうりゅう 鶴見国際交流ラウンジニュース



Tsurumi International Lounge News

2022・1-3
No.68

鶴見国際交流ラウンジで行われている日本語教室に通う学習者の方々が、学習支援教室に通う外国につながる小中学校の子どもたち。ここで学んだ外国の人たちが、その経験を生かして今、人生を輝いたものになっています。今回は3人の方に来日からこれまでの経験、思いなどを伺いました。

リンイエンフォン 林艶紅さん

中国から来日し鶴見ラウンジ学習支援教室「なないろ」で学んだ林艶紅さんは現在、神田外国語学院の2年生。アルバイトをしながら大学への編入を目指して勉強中です。



いつ日本へ来ましたか？

2014年10月23日です。14歳の時でした。中国の福建省から来ました。母が日本国籍で、すでに日本にいたので、家族と一緒に住むために父、姉、弟と私の4人で来日しました。最初に住んだのは横浜市中区の吉田町です。

日本に来た時困ったことは何ですか？

ことばです。日本語ゼロ。まったくわかりませんでした。だから友達とコミュニケーションがとれない。でも中学1年で入った吉田中の国際教室の先生に教わったり、自分でも努力して一生懸命日本語を勉強したりしました。中区のラウンジでも勉強したりしてだんだんわかるようになりました。中学2年の秋に鶴見区に引っ越して鶴見中学に編入しました。そのころには友達と日本語でいたい会話ができるようになっていました。

どうやって鶴見ラウンジの学習支援教室「なないろ」を知りましたか？

鶴見中学の国際教室の先生が「なないろ」を勧めて下さったのです。そこで日本語だけでなく理科や社会なども教えてもらい、県立大師高校の普通科に合格できました。私は特別枠では受けられなかったのがんばって普通科に入りました。

神田外国語学院に入った理由、今、大学への編入を目指している理由は？

英語が学びたかったからです。英語をマスターして将来は通訳になりたいです。そのため外国語学部がある大学に編入してさらに勉強をたくて今がんばっています。将来通訳になったら、日本だけでなく、中国やアメリカ、他の国で通訳の仕事ができて人の役に立てたらいいと思っています。

「なないろ」で学んでいる子供たちに伝えたいことはありますか？

がんばれば行けます！努力すれば、70%ぐらいでも。がんばれば出来ます！と伝えたいです。

はきはきとした受け答えで明るくインタビューに応じてくださった林さん。「がんばれば出来ます！」という言葉には努力してきたこれまでの経験から実感がこもっていました。

※ 12月13日(月) 大学編入学試験合格の連絡をいただきました。

ニーツ ユニクリシュナン Neethu Unnikrishnanさん



インドから夫の転勤で来日したニーツさん。「日本語で楽しむ会」と「トピックスかわ教室」に参加しながら、ご自身でも大変熱心に日本語を習得され JLPT(日本語能力試験) N3 に合格しました。日本で妊娠・出産を経験され、子育てをしながら9月からはITエンジニアとしてお仕事をスタートしました。

いつどうして日本へ来ましたか？

IT関係の仕事をしている夫の転勤に伴い、2019年10月25日に来日しました。美しい日本を旅行できるのをとても楽しみにしていました。

日本に来た時困ったことは何ですか？

インドでは11年半の間、ITエンジニアとして働いていました。来日してからは孤独と退屈の白々に困りました。また、来日数か月後には妊娠がわかり、日本語がわからなかったので、病院に行くこともとても難しかったです。ただ幸いなことに外国人をサポートしてくれる病院を見つけることができ、とても助かりました。

どうやって鶴見ラウンジの日本語教室を知りましたか？

近所の人から教えてもらいました。

その時ちょうど JLPT 試験の準備をしていたので、日本語を上達させたいと思いました。また、孤独も感じていたので、「人」にも会いたかったからです。

どのようなお仕事をしていますか？お仕事中に日本語を話す(聞く)ことはありますか？

ITエンジニアとして週に5日、1日8時間働きます。(現在はテレワーク中)

会社では、日本語で行われる会議に参加しなくてはならず、また日本語でのメールも理解する必要があります。これは想像以上に難しく、メールに関しては50%ほどは理解できますが、会議で使われる言葉はほとんど理解できません。同僚も忙しいので質問することも難しく、自分で調べながら勉強しています。

お仕事をしながらの子育て、家庭のとの両立には不安がありますか？

子育てに関しては少し大変です。子供は普段は保育園に行きますが、病気の時などは心配です。

また、夫の(インドオフィスとの)会議が夜にあたりるので、子供がさわがしくて困ったりします。

家事については夫の協力もあり、不安はありません。週末に洗濯やお掃除をしますし、洗濯やお料理は夫が手伝ってくれます。

将来の夢はありますか？どんなことですか？

仕事もうまくできるように日本語をもっと上達させたいです。

また、たくさん旅行にも行って、家族と一緒にいろいろな場所を見てみたいです。

お話を伺った日はお子さんの体調が悪く、心配しながらも笑顔で質問に答えてくれたニーツさん。

日本にいる間、行ってみたいところがたくさんあるそうで、沖縄や北海道、そして白川郷に行ってみたいとお話してくれました。

ジョアナ シルヴァ
Joana Silvaさん

ブラジル出身のジョアナさんは、とても熱心に「日本語で楽しむ会」と「トピックスか
いわ教室」のクラスに参加されています。ご自身の強い思いから、「介護士養成講座」
を受講後、介護資格も取得し、現在は介護士としてお仕事をされています。



いつどうして日本へ来ましたか？

2017年2月13日に夫の転勤に伴い、来日しました。子供たちはテクノロジーやゲームなどで発展している
日本に行くことを喜んでいましたが、自分自身は日本について何も知らず、正直あまりうれしくはありませ
んでした。

日本に来た時困ったことは何ですか？

日本語がまったくわからなかったのも、それが一番困りました。夫は日系で、大学卒業後に日本で少し働い
ていたこともあり、日本語ができたのでよかったです。

どうやってつるみ라운ジの日本語教室を知りましたか？

インターネットで知りました。つるみ라운ジは家からも通いやすく、またポルトガル語ができるスタッフの
方がいたので、参加することにしました。
日本語教室では、先生たちがとても親切で、楽しく日本語を学ぶことが出来て本当に良かったです。

なぜ介護の資格をとって仕事をしようと思ったのですか？

私は働くことがとても好きですし、誰かの役に立ちたい、助けることをしたい、と思ったからです。

いまはどのくらい働いていますか？お仕事中に日本語を話す（聞く）ことはありますか？

現在は介護士として週に2日、1日に5時間程度働いています。仕事中はすべて日本語でのやりとりです。
わからない日本語があっても、すぐには調べることができないので、仕事が終わってから、復習しています。

お仕事をスタートして、よかったことはなんですか？ たいへんなことはなんですか？

たいへんなことは何もありません。よいことばかりです。たくさん日本語を学び、練習もできるし、友人も
できました。何より介護士としてはたらき、仕事に慣れ、上達してくることに喜びを感じます。この仕事が
とても好きなので、帰宅してからの家事も頑張ることが出来ます。

将来の夢はありますか？どんなことですか？

母親として、子供たちの夢が私自身の夢です。彼らの夢はアメリカの大学に行くことで、それを叶えてあげ
られるように私も努力します。子供たちの希望がかなった後で、私自身の夢は、いつかブラジルに戻って、
綺麗なビーチの前で小さなホテルをオープンすることです。日本の方にぜひ来てほしいと思っています。

その明るく優しいお人柄から誰からも愛されるジョアナさん。6月に行われたつるみ라운ジのスピーチ
大会でも日本人に恩返しをしたいという熱い思いをお話してくれました。介護施設でもジョアナさんの笑顔
が皆さんを幸せな気持ちにしてくれていることでしょう。



【特集】まちがえやすい粗大ごみ(大きなごみ)の出し方について

粗大ごみの出し方を知っていますか？

家具や電化製品など、大きなサイズのごみは「粗大ごみ」というごみになります。

粗大ごみは、普通のごみと一緒に出すことができません。

粗大ごみになるのは、次の①または②にあてはまるごみです。

①金属で作られていて、大きさが30cmよりも大きいごみ。

②金属ではないもので作られていて、大きさが50cmよりも大きいごみ。



このような粗大ごみを普通のごみと一緒にしてしまうと、いつまでも回収されないので、同じごみを集める場所を使う人が困ってしまいます。

粗大ごみを出す時は、あらかじめ「粗大ごみ受付センター」に申し込みましょう。

【粗大ごみ受付センター】

○電話：0570-200-530

(携帯電話からかける時は、045-330-3953 にかけてください)

○インターネット・チャットでの受付

横浜市 粗大ごみ

検索



また、普通のごみにも、出し方のルールがあります。

○燃やすごみ、燃えないゴミ、缶・ビン・ペットボトルなど、種類を分けて出しましょう。

(分け方がわからない人のためのパンフレットを区役所などで配っています。)

また、Mlctionary (ミクシヨナリー) というホームページでも調べることができます。)

ミクシヨナリー

検索

○ごみは、出す日の朝8時までにごみを集める場所へ持っていきましょう。

回収が終わった後のごみを集める場所には、ごみを出さないようにしましょう。

ごみを集める場所を使うルールを守ると、みんなが気持ちよくごみを出せます。ルールを守って、まちをきれいにしましょうね♪



《鶴見区のマスコット ワックン》

編集・発行：鶴見国際交流ラウンジ 情報部会 URL <https://www.tsurumilounge.com>

横浜市鶴見区鶴見中央1-31-2 電話045-511-5311 ファックス045-511-5312

猪瀬朝子、井上愛子、唐鎌智子、平山あみ花、伊賀久美子

翻訳：安部香代子、黒川英子、小峰麗、申水貞、石原みどり、倉橋ジェラルデン